

次の表計算ソフトに関する設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

VLOOKUP 関数

検索値と検索範囲のセルの値（範囲値）とを比較し、検索の型を 0 とした場合は「範囲値＝検索値」となる行、検索の型を 1 とした場合、検索値以下で最も大きい値となる行に対し、指定された列の値を返す。なお、検索の型を 1 とした場合、検索範囲の左端の列は昇順に並んでいる必要がある。

書式：VLOOKUP（検索値，検索範囲，列番号，検索の型）

HLOOKUP 関数

検索値と検索範囲のセルの値（範囲値）とを比較し、検索の型を 0 とした場合は「範囲値＝検索値」となる列、検索の型を 1 とした場合、検索値以下で最も大きい値となる列に対し、指定された行の値を返す。なお、検索の型を 1 とした場合、検索範囲の上端の行は昇順に並んでいる必要がある。

書式：HLOOKUP（検索値，検索範囲，行番号，検索の型）

COUNTIF 関数

指定された範囲に含まれるセルのうち、検索条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF（範囲，検索条件）

SUMIF 関数

指定された範囲に含まれるセルのうち、検索条件に一致するセルに対応する合計範囲の合計を求める。なお、合計範囲は省略可能であり、省略された場合は範囲の合計を求める。

書式：SUMIF（範囲，検索条件，[合計範囲]）

INT 関数

数値の整数部を返す。

書式：INT（数値）

式

=に続けて計算式や関数などを入力する。

セル番地の参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより別シートを参照できる。

例：シート名「集計」のセル A1 を参照する場合は、集計!A1 と記述する。

J 社では 4 つの支店の売上を、四半期ごとに表計算ソフトを利用して集計している。利用する表は、次のようにまとめている。

表 1 「売上」シート（四半期分の売上データ）

	A	B	C	D	E	F	G
1							単位: 千円
2		月	支店コード	支店名	売上額	1人当たりの売上額	評価
3		10	S01	東京支店	246,700	4,934	4
4		10	S02	神奈川支店	41,000	1,464	2
5		10	S03	千葉支店	68,100	2,724	3
6		10	S04	埼玉支店	15,900	795	1
7		11	S01	東京支店	126,300	2,526	3
8		11	S02	神奈川支店	99,300	3,546	4
9		11	S03	千葉支店	50,100	2,004	3
10		11	S04	埼玉支店	21,600	1,080	2
11		12	S01	東京支店	294,000	5,880	5
12		12	S02	神奈川支店	107,200	3,829	4
13		12	S03	千葉支店	75,300	3,012	4
14		12	S04	埼玉支店	44,700	2,235	3

B 列（月），C 列（支店コード），E 列（売上額）を入力する。他の列は表 2 を参照して、関数を用いて求めている。

表2 「集計」シート

	A	B	C	D	E	F	G
1		評価基準					単位: 千円
2		評価下限	0	1,000	2,000	3,000	5,000
3		評価値	1	2	3	4	5
4							
5		支店集計表				単位: 千円	
6		支店コード	支店名	従業員数	四半期合計	1人月平均	
7		S01	東京支店	50	667,000	4,446	
8		S02	神奈川支店	28	247,500	2,946	
9		S03	千葉支店	25	193,500	2,580	
10		S04	埼玉支店	20	82,200	1,370	
11							
12		月別評価値集計表					
13		評価値	件数				
14		5	1				
15		4	4				
16		3	4				
17		2	2				
18		1	1				

支店集計表の四半期合計，1人月平均および月別評価値集計表の件数については，関数を用いて求めている。

＜設問＞ 表 1，表 2 で用いている関数について答えよ。

(1) 支店名を表示するため，表 1 のセル D3 に入力する式を解答群から選べ。ただし，セル D3 の式は，セル D4～D14 に複写する。

(2) 従業員 1 人当たりの売上金額を求めるため，表 1 のセル F3 に入力する次の式の中
の に入力する式を解答群から選べ。ただし，セル F3 の式は，セル F4～F14 に複写する。

= E3 / (2)

(1)，(2) の解答群

- ア. VLOOKUP(C3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 2, 0)
- イ. VLOOKUP(C3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 2, 1)
- ウ. VLOOKUP(\$C\$3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 2, 0)
- エ. VLOOKUP(\$C\$3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 2, 1)
- オ. VLOOKUP(C3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 3, 0)
- カ. VLOOKUP(C3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 3, 1)
- キ. VLOOKUP(\$C\$3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 3, 0)
- ク. VLOOKUP(\$C\$3, 集計!\$B\$7:\$D\$10, 3, 1)

(3) 各月各支店の従業員 1 人当たりの売上金額を評価するため，表 1 の G3 に入力する式を解答群から選べ。ただし，G3 の式は，G4～G14 に複写する。

なお，評価は，1 人当たりの売上額を表 2 の評価基準に準じて決定する。

(3) の解答群

- ア. HLOOKUP(F3, 集計!\$C\$2:\$G\$3, 2, 0)
- イ. HLOOKUP(F3, 集計!\$C\$2:\$G\$3, 2, 1)
- ウ. HLOOKUP(\$F\$3, 集計!\$C\$2:\$G\$3, 2, 0)
- エ. HLOOKUP(\$F\$3, 集計!\$C\$2:\$G\$3, 2, 1)

(4) 支店ごとの四半期合計を求めるため，表 2 のセル E7 に入力する式を解答群から選べ。ただし，セル E7 の式は，セル E8～E10 に複写する。

(4) の解答群

- ア. SUMIF(売上!E3:E14, C3)
- イ. SUMIF(売上!\$E\$3:\$E\$14, C3)
- ウ. SUMIF(売上!C3:C14, B7, 売上!E3:E14)
- エ. SUMIF(売上!\$C\$3:\$C\$14, B7, 売上!\$E\$3:\$E\$14)

(5) 支店ごとに従業員 1 人当たりの四半期平均売上を求めるため、表 2 のセル F7 に入力する式を解答群から選べ。ただし、セル F7 の式は、セル F8～F10 に複写する。

(5) の解答群

- ア. $\text{INT}(\text{E7} / 3)$
- イ. $\text{INT}(\text{E7} / \text{D7})$
- ウ. $\text{INT}(\text{E7} / \text{D7} / 3)$
- エ. $\text{INT}(\text{E7} / \text{D7} / 3 / 3)$

(6) 表 1 の売上表で従業員 1 人当たりの売上に対する評価値の件数を求めるため、表 2 の月別評価値集計表のセル C14 に入力する式を解答群から選べ。ただし、セル C14 の式は、セル C15～C18 に複写する。

(6) の解答群

- ア. $\text{COUNTIF}(\text{売上!G3:G14}, \text{B14})$
- イ. $\text{COUNTIF}(\text{売上!G3:G14}, \$\text{B\$14})$
- ウ. $\text{COUNTIF}(\text{売上!}\$ \text{G\$3:}\$ \text{G\$14}, \text{B14})$
- エ. $\text{COUNTIF}(\text{売上!}\$ \text{G\$3:}\$ \text{G\$14}, \$\text{B\$14})$